

重点目標一覧表		担当部局名	真田地域自治センター
【令和6年度重点目標】		【令和7年度重点目標】	
1	重点目標	市民が主役 「心豊かな 協働のまちづくり」の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度
	① 地域全体で作る安心・安全デジタルネットワーク (1) 地域内のデジタル化推進事業 ・ 地域内デジタル化事業の説明会開催 ・ 自治会専用グループの活用支援 ・ はれラジ連携による地域への情報配信 ・ デジタル活用による定期送達書類軽減化推進 (2) 地域関係課等のデジタル活用推進 ・ 真田地域関係課等との活用方針調整 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ 各担当課自治会宛て文書等のデジタル化推進 (3) デジタル化事業を活用した緊急時における情報伝達の構築		① (1) ・ 自治会等(75回)、団体等への説明(3回) ・ 自治会グループ活用支援(30回) ・ 番組協議(6回)毎日朝晩 ・ 電子定期送達(12回) (2) ・ 担当会議開催(9月)各課情報配信(50回) ・ 公民館スマホ講座連携(2回) ・ 文書のデータ配信(4回)電子申請(6回) (3)危機管理防災課・広報課と連携し、Jアラートのキコムん転送機能を付与(11月)
	② 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) まちづくりに活用できる情報提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有		② (1) 全36自治会に市の補助制度等住民に有用な情報を提供(7月) (2) 地域要望を関係課へ共有し、要望に対する一次回答(11月)、と最終回答まとめ
③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有		③ (1) 会報誌配布支援及びセンターだよりでの事業紹介(5月)、はれラジでの事業案内(随時) (2) 地域の声を取りまとめ、書面にて情報共有(11月)	
2	重点目標	多彩な地域資源を生かした魅力発信	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度
	① 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) ネーミングライツパートナーとの協働による各種施策の推進（アンダーアーマー菅平サニアパーク・アンダーアーマー菅平アリーナ） (2) ホームページ・SNSを活用したPR (3) 菅平高原スポーツ施設の指定管理検討		① (1) UAウーマンズサッカー大会U-18や菅平ラグビーシンポジウム、全日本スキージュニア選手権の新規イベントへの地元協力、古戦場ハーフマラソン、ともしびの里駅伝大会等の既存イベントへの協賛、出展を通じた連携 (2) 市のホームページ及びネーミングライツパートナーの特設ページ、SNS等を通じて利用促進に向けた情報発信を実施 (3) 指定管理の在り方について検討中
	② 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 2028年国民スポーツ大会開催に向けて安全性・快適性の向上を目指したアンダーアーマー菅平サニアパークの施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備		② (1) 9/25に工事請負契約を締結。10/3から改修工事に着手し、12/13に改修工事完了 (2) 地下貯蔵タンクの改修工事は8/2に完了。加えて2Fホールの照明改修(LED化)も実施し、12/13に改修工事完了
③ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性の協議 (2) 展示品・所蔵品の利活用の検討		③ (1) 今後のあり方や展示品等の整理に向けて地元関係者と協議を継続 (2)	
④ シビックプライドの醸成に向けたイベントの開催 (1) 真田まつりの開催 (2) 真田氏歴史館企画展の開催		④ (1) 第40回真田まつりを8月3日に開催(約5,500人来場)。11/14に実行委員会を開催し、事業報告を実施 (2) 真田信綱・昌輝公没後450年特別企画展を8月10日から9月23日まで開催。ゆかりの品8点を展示し、期間中に約3,300人が入館	
⑤ ダボス町との姉妹都市交流の推進 (1) ダボス関係者との連携協議 (2) 記念行事に向けた事前訪問事業の実施		⑤ (1) ダボス担当者との記念事業に向けた連絡調整を実施(7月～9月) (2) 真田地域内での記念行事に向けたイベント実施	
3	重点目標	真田地域の拠点となる多目的施設整備の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度
	① 防災福祉多目的機能拠点設置事業への取組 (1) 福祉分野（障がい者、高齢者、ボランティア等）で必要となる機能の検討 (2) 真田総合福祉センター周辺の公共施設整備計画との調整 (3) 防災対策拠点や多目的用途としての将来に向けた施設のあり方及び財源の検討 (4) 地域協議会等、地域住民との協議		① (1) 関係課（真田市民サービス課）との協議を実施(3回) (2) 地域協議会での調査研究(3回)や関係課協議(3回)により、更に広域的視点で地域の公共施設のあり方や将来計画について検討の必要性から、引続き方向性の検討を進める。 (3) (4) 地域協議会に公共施設の調査研究を行う分科会を設置し(8月)、将来に向けた施設のあり方について調査・研究を実施(9月、10月、2月)
	② 遊休荒廃農地対策 (1) 地域おこし協力隊員を中心とした農業体験の充実 (2) 特産果樹の新品種の普及促進 (3) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進		② (1) 野菜作り体験、7組参加。4月～11月まで月2回実施。米塾9名の参加。4月～11月まで月1回実施 (2) 11月の自治センターだよりで、ヘーゼルナッツ苗木幹旋を周知。申込者へ令和7年3月に苗木配布(年間132本) (3) 貸出希望農地の担い手への農地集積(年間10,065㎡)
③ 地域農業の魅力発信 (1) ゆきむら夢工房からの情報発信 (2) 賑わいのある新そばまつりの開催		③ (1) 「ゆきむら夢工房だより」月1回発行。ホームページやメール配信を活用しPRを随時実施 (2) 11月3日、第30回新そばまつり開催。記念イベントとして、中学校吹奏楽部による演奏と福引きを実施。(来場者1,500人)	
④ 農林産物展示販売施設の今後の方針検討 (1) 施設の利活用の検討		④ (1) トライアル・サウンディング実施期間を令和7年9月30日まで延長して実施(年間利用件数 7件)	
4	重点目標	地域の特性を生かした農業の振興	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度
	① 多様な担い手の確保・育成 (1) 新規就農者への支援 (2) 農福連携の推進		① (1) 関係機関と連携し新規就農者(3人)のサポートに取り組み、2月に面談を実施 (2) ブルーベリー収穫作業委託(7～8月)3件
	② 遊休荒廃農地対策 (1) 地域おこし協力隊員を中心とした農業体験の充実 (2) 特産果樹の新品種の普及促進 (3) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進		② (1) 野菜作り体験、7組参加。4月～11月まで月2回実施。米塾9名の参加。4月～11月まで月1回実施 (2) 11月の自治センターだよりで、ヘーゼルナッツ苗木幹旋を周知。申込者へ令和7年3月に苗木配布(年間132本) (3) 貸出希望農地の担い手への農地集積(年間10,065㎡)
③ 地域農業の魅力発信 (1) ゆきむら夢工房からの情報発信 (2) 賑わいのある新そばまつりの開催		③ (1) 「ゆきむら夢工房だより」月1回発行。ホームページやメール配信を活用しPRを随時実施 (2) 11月3日、第30回新そばまつり開催。記念イベントとして、中学校吹奏楽部による演奏と福引きを実施。(来場者1,500人)	
④ 農林産物展示販売施設の今後の方針検討 (1) 施設の利活用の検討		④ (1) トライアル・サウンディング実施期間を令和7年9月30日まで延長して実施(年間利用件数 7件)	
5	重点目標	市民が主役 「心豊かな 協働のまちづくり」の推進	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等
	① 地域と人がつながるデジタルネットワーク (1) 地域内のデジタル化推進事業 ・ 地域内デジタル化事業の説明会 ・ グループ機能活用支援 ・ はれラジ連携による地域への情報配信 ・ デジタル活用による定期送達書類軽減化推進 (2) 関係課等のデジタル活用推進 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ 自治会宛て文書等のデジタル化推進		① (1) ・ 自治会等での説明(6回)(年度内) ・ 住民グループ作成支援(6グループ)(年度内) ・ はれラジとの情報配信に係る協議(12回)(年度内) ・ 電子定期送達配信(12回)(年度内) (2) ・ 事業連携(2回)(年度内) ・ 自治会長電子申請利用率を5割以上(年度内)
	② 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) 地域のまちづくりに活用できる情報提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有		② (1) 地域づくり委員会での情報提供(8月まで) (2) 関係課等へ課題の情報提供と対応依頼(通年)
③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有 (3) 住民自治組織参画団体等増加に向けた支援		③ (1) はれラジ等での広報、会報「さなぎ」配布(通年) (2) 地域課題の情報共有(年度内) (3) 住民自治組織との協議(2回)(通年)	
6	重点目標	多彩な地域資源を生かした魅力発信	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等
	① 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) ネーミングライツパートナーとの協働による各種施策の推進（アンダーアーマー菅平サニアパーク・アンダーアーマー菅平アリーナ） (2) ホームページ・SNSを活用したPR (3) ラグビー合宿の聖地を活かした連携とPR		① (1) ㈱ドームと観光協会をはじめとする地元との連携を強化し、ネーミングライツ契約の継続に向け各種事業を推進(年度内) (2) 利用促進に向けた情報発信(年度内) (3) 東大阪市花園ラグビー場との連携による菅平高原のPR活動の推進(年度内)
	② 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 2028年国民スポーツ大会開催に向けて安全性・快適性の向上を目指したアンダーアーマー菅平サニアパークの施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備		② (1) 大型バス送迎待機所拡幅工事(12月) (2) ドライエリア擁壁改修工事(年度内)
③ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性及び展示品・所蔵品の利活用の検討		③ (1) 関係団体等との検討(年度内)	
④ 地域特性を生かしたイベントの開催 (1) 真田ブランドを生かした祭りの開催 (2) 菅平高原のフィールドを生かしたイベントの開催		④ (1) 第41回真田まつりの開催(8月) (2) ササ刈りイベントの開催(年度内)	
⑤ ダボス町との姉妹都市交流の推進 (1) ダボス町との交流推進に向けたイベントの開催 (2) 提携50周年記念事業に向けた準備		⑤ (1) イベント等の開催(年度内) (2) ダボス町関係者との協議(年度内)	
7	重点目標	真田地域の福祉施設の在り方の検討	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		期限・数値目標等
	① 真田地域の福祉施設の在り方の検討 (1) 福祉分野（障がい者、高齢者、ボランティア等）で必要となる機能の検討 (2) 周辺施設との統合合についての検討 (3) 入浴事業の見直しについての検討 (4) 真田総合福祉センターと真田老人福祉センターの在り方検討		① (1) 関係者との検討、検討の場での情報提供(3回)(年度内) (2) 関係者との検討(3回)(年度内) (3) 関係者との検討(2回)(年度内) (4) 地域関係団体等との協議(3回)(年度内)
	② 遊休荒廃農地対策 (1) 地域おこし協力隊員を中心とした農業体験の充実 (2) 特産果樹の新品種の普及促進 (3) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進		② (1) 関係機関と連携した認定新規就農(4人)への支援(年度内) (2) 収穫作業委託(2件)
③ 遊休荒廃農地対策 (1) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進		③ (1) 貸出希望農地の担い手への農地集積(3,000㎡)(年度内) (2) ヘーゼルナッツの苗木幹旋(100本)及び栽培技術等の研究(年度内)	
④ 地域農業の魅力発信 (1) ゆきむら夢工房からの情報発信 (2) 賑わいのある新そばまつりの開催		④ (1) 夢工房だより・ホームページやメール配信を活用した情報発信(通年) (2) 来場者数:1,500人(11月)	